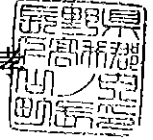




20山建水第324号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

山ノ内町長 竹 節 義 孝



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

- 1 送付内容 今後の道路行政についての意見・提言 様式①から④
各1部

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県山ノ内町

○道路特定財源の一般財源化にあたっては、道路が果たす役割や整備が遅れている地域（市町村）の現状を踏まえ、これまでの配分枠を充実に確保してほしい。

○道路特定財源の一般財源化の制度設計にあたっては、地域（市町村）による道路整備等の自由度を最大限拡大するとともに、地域（地方）の意見に十分配慮してほしい。

○都道府県が管理する国道における未改良区間の整備促進を図ってほしい。

○現状 1 北陸新幹線飯山駅へのアクセス道路である国道403号、及び主要地方道、県道等も依然として見改良箇所が多い。 2 本町と周辺都市間を結ぶ主軸として機能している国道292号においては本町志賀高原（陽坂）から群馬県草津町区間において、約5ヶ月の間冬期閉鎖となっている。 3 都市計画道路は8路線 計画決定延長16,262m 改良済延長8,773m 概成済延長4,976mとなっており、国・県道と有機的かつ効果的に連携した道路体系を目指している。	○課題 1 特に国道403号については、近隣する自治体と連携を図り、地域住民とともに整備の重要性をアピールする必要性がある。 2 国道292号は、冬期間（閉鎖期間）スキー場が通過しており、冬期閉鎖期間の短縮には、調整が必要である。 3 道路交通環境の現状にそぐわない路線や区間についての見直しを行うため、関係住民の意識や熟度を整える必要がある。
---	---

②-2 地域の目指すべき将来像

○国道403号について

- ・中須賀川バイパスの早期完成を望みます。
- ・表落合、裏落合地区の国道狭隘箇所を望みます。

特に裏落合地区は、当町でも有数の地すべり地帯のため、現道拡幅では限界があるため、地すべり地帯を回避したバイパスを望みます。

○国道292号について

- ・景観面からスノーシェッド整備ではなく、路面消雪(凍結防止)施設の整備により、冬期閉鎖期間の短縮を望みます。
- ・長野オリンピック・パラリンピックで整備された国道292号ですが、志賀高原においては道路排雪用の堆雪帯が不足しているため、早急な整備を望みます。
- ・観光地として、大型バス等の通行が多いため、特に志賀高原内の国道に覆いかぶさっている支障木(枝)除去を望みます。

○都市計画道路について

- ・計画の見直しをした上で、未完成路線(区間)の整備を進めます。
- ・整備済の路線(区間)についても、舗装を含めた美装化を推進したい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

長野県山ノ内町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・裏落合バイパス（国道403号） ・県道宮村湯田中停車場線（小池峠）車両通行不能区間の解消	・北陸新幹線飯山駅へのアクセス ・豪雪地の安全、安心な通行確保 ・国道保全（地すべり地帯のため） ・信州高山温泉郷と湯田中渋温泉郷を結ぶ周遊型の誘客につなげる。	
・良好な景観の形成	・支障木伐採（国道292号） ・堆雪帯整備（国道292号） ・河床浚渫（千曲川流域 一級河川夜間瀬川）	・国道からみえる風景の創造（支障木伐採や河床の整備） ・国道292号における日本風景街道（浅間・白根・志賀さわやか街道）活動の推進	